



2005.10
NO.

7

みずみらいつうしん

湖美来通信

発行/猪苗代湖・
裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会
住所/福島市杉妻町2番16号
(事務局 福島県生活環境部環境保全領域水環境グループ)
TEL 024-521-7258 FAX 024-521-7927
■ホームページ/ <http://www.ht-net21.ne.jp/~kosuikyo/>
■E-mail/ kosuikyo@ht-net21.ne.jp

「次代に残そう紺碧の猪苗代湖、清らかな青い湖。裏磐梯」

この人に聞く

ハーブヒルコテージ遊沢森の石窯パン オーナー 奈良岡 しのぶさん 2

平成16年度の猪苗代湖・裏磐梯湖沼の水質測定結果概要

イベントのお知らせ/TOPICS 3

感じてみよう「きらめく水のふるさと磐梯」猪苗代湖の水と歴史 4

むかしのはなし「千古の清流 小野川不動滝」/読者プレゼント 6



猪苗代湖の水質検査

ぐるっと一周&遊覧船から
「猪苗代湖観察会」
8月19日(金)



十六橋水門



水生植物アサザを観察



浜路取水塔

湖美来基金は、水環境保全活動を支援しています。

水と素材へのこだわり

「本当に美味しい水ですね。地下水ですか」

その一言で、都会からいらしてくださいました。地下水

今から13年前に私は、猪苗代の豊かな自然に魅了され、東京から猪苗代に移住し、標高800メートルの山里で小



ハーブヒルコテージ 達沢森の石窯パン オーナー

奈良岡しのぶさん

(猪苗代可住)

東京から猪苗代町へ移住し、中ノ沢温泉近くで達沢の地下水を利用して、水と素材にこだわったパン作りを進めている奈良岡しのぶさんにお話を伺いました。

ながらの手作りで焼いたらどうだろう、それにここには達沢の水もある、と。美味しいパン作りに必要不可欠なものが「水」なのです。何しろパンの50パーセントは水分です。最後の決めてである水が、薬くさい水道水では素材にこだわ

る意味がなくなってしまう。

こうして試行錯誤を繰り返して、この地ではできないパン、またここでしか味わえないパンをやつと焼き上げるこ

(この人に聞く)

店のテラス席では澄み渡った大空を映して、きらきら輝きながら流れる美しい小達沢川を見ながらお茶やお食事を楽しめるようになり、お客様にも喜んで頂けて、私も大満足です。

また、店から車で5・6分の所に達沢不動滝があります。原生林の小道を行くと、秘境と呼ぶにふさわしい神秘的森の奥に、突如として現れる男滝の堂々たるたゞすまいは、何度見ても飽きることはありません。大きな壺石に沿って幾千もの白く美しい水流が落ちる滝壺に、運が良ければ虹がかかるのを見ることが出来ます。

うつそうとした木々の間からこぼれる陽光が、季節ごとに彩られる木の葉に光と影を落とし、白い水とのバランスが絶妙なコントラストとなり、被写体としても大変魅力的な所です。休日には涼を求める都会からのファミリーとシャッターチャンスを図う多くのアマチュアカメラマンで賑わっています。

自然を守って生きたい

達沢の自然や不動滝のすばらしさが、多くの人に伝わっていることはうれしい限りですが、皆が昔から大切に守り続けてきた自然を荒らすことなく、いつまでもこのままの状態を守り続けていきたいと、心新たに思います。

未来の世代のためにも…。

達沢のこゝ

東京で育った私は美しい水に対するあこがれが強く、いつの日か湖のほとりで小さなハーブ園を持たせたらと、夢を描いていました。残念ながら湖を見ながらの暮らしは叶いませんでしたが、お

さなハーブガーデンとカフェをオープンさせました。そして6年の歳月が過ぎた頃、お客様に何回も山の中に足を運んでいただくことの難しさを痛感し、他では手に入れることができない、オリジナルティー豊かなハーブパンを焼くことを思い立ちました。

ポストハーベストの心配のない国産小麦を使用し、天然酵母、自然塩、三温糖と素材にこだわった無添加パンを昔



達沢不動滝 女滝



達沢不動滝 男滝

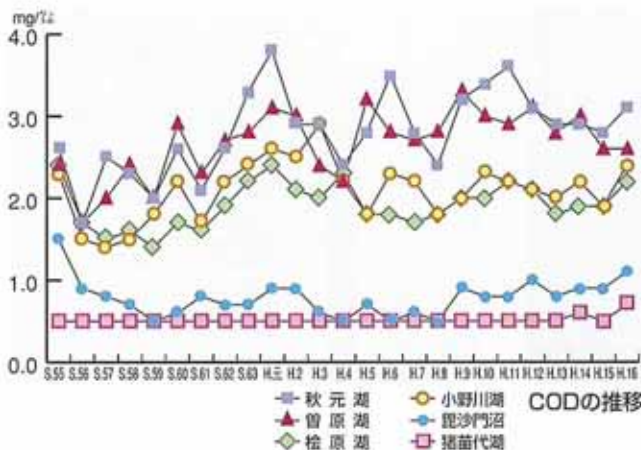
平成16年度の 猪苗代湖・裏磐梯湖沼の 水質測定結果概要

COD (化学的酸素要求量)

猪苗代湖については、湖心で平成15年度0.5mg/l以下でしたが、平成16年度は0.7mg/l以下となりました。

裏磐梯湖沼については、松原湖、小野川湖、秋元湖、曾原湖、毘沙門沼で調査を実施しました。前年度と比較するとわずかに上昇しています。

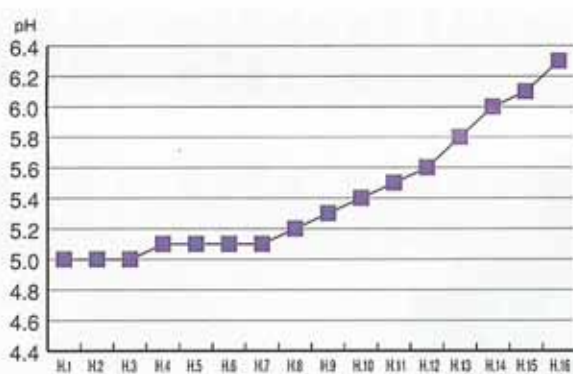
※CODとは湖沼の有機物による水質汚濁の代表的な指標です。



猪苗代湖のpH

湖心のpHは6.3でした。湖水のpHは平成8年度以降毎年上昇しており、中性化が進んでいます。中性化が進むと、猪苗代湖がもつ自然浄化作用が働かなくなり、湖底に沈んでいる汚濁物質が湖に溶け出し、水質が急激に悪化する恐れがあります。

猪苗代湖及び裏磐梯湖沼の全りん、全窒素については概ね横ばいで推移しています。



猪苗代湖(湖心)のpHの推移

※pHとは、水の酸性アルカリ性の度合いを示す指標で、普通の河川や湖沼のpHは7(中性)付近の値を示します。

詳細は、福島県生活環境部水環境グループへ。
☎024-521-7250
<http://www.pref.fukushima.jp/kankyuu/>

イベントのお知らせ

協議会主催・後援

- 猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全フォーラムの開催**
 日時 平成17年10月26日(木) 午後1時開会
 場所 ホテルリステル猪苗代
 水環境保全活動の事例発表、猪苗代湖岸の植生についての講演を行います。入場無料。どなたでも参加できます。
 ●申し込み・問い合わせ先
 協議会事務局(福島県水環境グループ)
 ☎024-521-7258
 ☎024-521-7927
- 日本水環境学会 東北支部セミナーの開催**
 テーマ: 「猪苗代湖および裏磐梯湖沼の水質保全」
 日時 平成17年10月29日(日) 午後1時5分開会
 場所 杉妻会館(福島市杉妻町)
 主催 (財)日本水環境学会東北支部
 湖沼の水質保全についての講演、猪苗代湖の水環境に関する活動事例報告等を予定しています。参加申し込みは10月14日(金)まで。
 ●申し込み・問い合わせ先
 福島県環境センター調査分析グループ
 ☎024-923-3644
 ☎024-925-9029
- 湖美来基金・水環境保全支援活動**
 皆様からいただいた会費により、湖美来基金水環境保全活動助成事業として行われるイベントを紹介します。ぜひご参加ください。
- 用水路の歴史と猪苗代の農業生活〜土田堰**
 日時 平成17年10月22日(土)
 猪苗代湖の水利用〜安積疏水
 日時 平成17年11月5日(土)
 猪苗代湖の水の利用や歴史について、いなわしろ伝保人会のガイドの説明を聞きながら、水の流れに沿って現地を歩いてみませんか。
 ●問い合わせ先 いなわしろ伝保人会
 ☎0242-62-2048
- 湖畔の広葉樹の森整備**
 日時 平成17年10月29日(日)
 集合 猪苗代町「昭和の森」
 毎日飲んでいるおいしい水。その源は森林にあり、秋空の下、どうすれば森林、そして水が守られるのか、一緒に考えてみませんか。
 ●問い合わせ先
 NPO会津の森林を育む協議会
 ☎0242-26-2355



TOPICS

- 協議会の主な事業報告**
 平成17年4月27日
 理事会・総会開催
 平成17年5月11日
 水環境保全推進員講習会開催
 平成17年6月4日・5日
 いなわしろフェスティバル2005参加
 平成17年6月14日
 湖美来基金水環境保全活動支援事業
 審査委員会開催
 平成17年8月19日
 猪苗代湖観察会開催

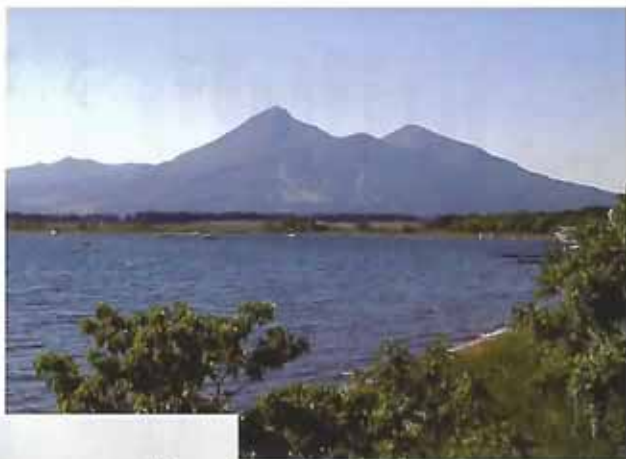
感じてみよう

「きらめく 水のふるさと」

猪苗代湖の水と歴史

猪苗代湖は、その澄んだ湖面に四季折々の風景を映し出し、別名「天鏡湖」とも呼ばれ、私たちの目を楽しませてくれます。
多くの人が訪れる県内随一の観光地である猪苗代湖ですが、猪苗代湖やその周辺の地域が、今のよう豊かな土地になるまでには、たくさんの方の活躍や時代の変遷がありました。
猪苗代湖のきらめく水を感じながら、その歴史に想いを馳せてみませんか。

猪苗代湖の湖上交通 ①



現在の猪苗代湖からはちょうど想像がつかないかもしれませんが、猪苗代湖では、かつて、舟を使った運送が行われており、塩や魚、年貢米などが運ばれていました。



特に、明治になってからは食料品や雑貨などの運搬量が増えたため、舟数、利用者数も増え、蒸気船やディーゼル船が湖南七浜七港など、各港を往来し、猪苗代湖の湖上交通は大変な賑わいを見せたそうです。
湖岸に舟津、浜津等「津」のつく地名があるのは、舟着場や渡し場があった名残りと言われています。



1899年(明治32年)、郡山と会津若松間の鉄道の開通、さらに自動車の発達により、猪苗代湖の船はその姿を消し、今は観光遊覧船を残すのみとなっています。



戸ノ口堰は、現在の河東町八田野野に水をひくための用水堰として工事が始まりました。財政難による中断を何度も強いられながらも、1693年、着工から70年経て、遂に会津若松までおよそ31kmの水路が開かれます。
戸ノ口の水は灌漑用、生活用水として人々の生活を豊かにし、また鯉の養殖にも使われたと言われています。
1835年、戸ノ口堰の大改修が行われた際、飯盛山山腹に約150mの人工的な洞窟が掘られ、これにより水田2500haの灌漑が可能になりました。この洞窟が「戸ノ口堰洞穴」です。
戸ノ口堰洞穴には、会津戊辰戦争の時に、猪苗代湖上六橋付近での戦いに敗れた白虎隊が、この洞穴を通して飯盛山に登り、自害したという有名な話があります。

戸ノ口堰 着工より70年かけて会津若松へ通水



十六橋水門

1880年(明治13年)に建設された当時は、「十六眼鏡石橋水門」と呼ばれ、「一門」ことに木製の板を何枚もはめて湖水の流出量を調節していた。電動巻き上げ式の「十六橋水門」に改修されたのは、1914年(大正3年)のことです。

より低い位置で取水できる小石ヶ浜水門の完成により、取水の機能を小石ヶ浜水門へ引継ぎ、洪水時のみ開扉する運用になりましたが、その威風堂々とした姿は、まるで、現役のようであり、また125年の歴史を物語っているかのようです。



こすらにも注目

● 罫水標

毎日の水位を観測するための標識で、十六橋水門脇に建てられています。メートル単位と尺単位の2つの目盛りが刻まれているところが、時代を感じさせますね。



● 小石ヶ浜水門

1942年(昭和17年)、濁水時の発電用不足と豪雨時の洪水調節に柔軟に対応するため、小石ヶ浜水門が建設され、利用水深はそれまでの約3倍に増大しました。

現在、小石ヶ浜水門から取水された水は、戸ノ口堰に分水され会津盆地に導かれています。



おすすめ スポット

★ ヒューポイント

猪苗代湖・裏磐梯湖沼周辺にはたくさんさんのヒューポイントがありますが、その中からパノラマのような景観を見ることができ、よくばりスポットを紹介します。

○ 湖南七浜 露山市湖遊

猪苗代湖南岸にあり、猪苗代湖と磐梯山を一望できるポイントが点在しています。また、冬になると白鳥が舞い降りる姿を見ることが出来ます。



○ 紅葉山展望台 (猪苗代町)

国民宿舎翁鳥荘近くの遊歩道「おもいでの小径」「天鏡の小径」を約30分。「紅葉山展望台」から見下ろす猪苗代湖はまさに



絶景です。また、遊歩道途中からも磐梯山と猪苗代湖を望むことができます。

○ 三湖ハラダイス 全壱郡村

磐梯吾妻レークラインにある展望スポットで、秋元湖、小野川湖、松原湖の3つの湖を一度に見渡せます。遠くから眺める湖もまた格別です。



レークライン途中の中津川橋から見える中津川渓谷は、新緑・紅葉の名所として有名です。こちらもお見逃しなく。

※11月中旬からレークラインは通行禁止になります。

★ 湧水・名水

自然豊かな猪苗代湖や裏磐梯には、ごんこんと湧き出るきれいな湧水がたくさんあります。ぜひ足を運んでみてください。

○ 強清水 (河津町)「ふくしまの水30選」

猪苗代から会津若松に入る峠にあり、旧江戸街道と旧一本松街道の



○ 黒森強清水 (郡山市湖遊町)

黒森峠・黒森トンネル近くの国道294号線沿いにあります。地元の人たちが「黒森強清水」と書いた史柱を建て、大事に守っている湧水です。この道が「白河街道」と呼ばれていた時代、豊かに湧き出る水は旅人たちの喉を潤していたと言われています。



休み処として栄えた場所です。忘れ者の息子が、父が岩に湧き出る清水を酒にたとえて飲む姿を見て、親不孝を悔いた、という伝説が残っています。峠の茶屋の風情と、今でも湧き出る清らかな水が人々を楽しませてくれます。

むがしのはなし

東磐梯小野川湖の源流、小野川。ここにすばらしい滝、「小野川不動滝」があります。原生林を歩いていると仰々たる滝の姿、爽快な水しぶき。涼を求めて、または紅葉を楽しみたい多くの人が訪れる不動滝ですが、むがしはこんな光景がみられたと伝えています。

平

安初期、磐梯山麓に建立された名刹「会津恵日寺」(恵日寺)はその昔、神仏混濁の修験道の本拠であった。

修験者山伏が信仰修行のために鷹岳山、古城峯、高梵天経之森、磐梯山頂の環状巡拝路を登拝したことは文献にも見られる。更にこれを雄子沢、吾妻山へと延長されたことも明らかである。

古老は伝説として「小野川百軒」の大集落があったと伝える。これは、木地挽集団の村ではなく、山岳修験道の全盛時代、吾妻権現(現・西吾妻山の東吾妻神社)を目指した修験者たちの峰入宿坊として栄えていた集落を指している。

その昔、峰入修行を行う修験者たちは、今は湖底に沈んだ小野川の宿坊をさかのぼり、大冷水川にかかる名瀑「小野川不動滝」に向かった。「大冷水不動尊」が祀られた小野川不動滝は、修験者たちが水垢離をとり、心身を清浄ならしめる護摩を修してから吾妻権現に登拝した霊場であった。

※修験道

山へ籠もって厳しい修行を行うことにより様々な「験」を授けられることを目的とする宗教。その実践者を修験者という。

千古の清流 『小野川不動滝』



小野川不動滝は高さ45m、幅9mの大瀑布。新緑の春から紅葉の秋まで行楽客が絶えない名勝地である。この大冷水不動尊は開基の年月は不詳であるが小椋鹿三郎、喜市、轟作、キンの連綿として大塩の立岩山喜福院大塩寺の體下(管轄下)にあつたことが知られており、別当法印兼務として昔から司祭してきたと伝えられる。

不動滝の源流は西吾妻の中腹より湧出する「百貫清水」で、新集會津風土記によれば戸倉小屋(小野川)の卯辰の方一里余、吾妻山中に百貫清水あり深さ二尺余。湧出する勢いつよく、中央九尺四方は落葉を浮かべず、水底白砂清冽變すべし、昔部下の人此に来り、此の泉苟くも我が庭際にあらば百貫の價にも換ふべからずと云いし故この名ありと云ある。

この小野川湧水は昭和60年7月に全国名水百選に選ばれ、北塩原村の宝である。



北塩原村郷土史研究会
渡部 新一さん

※このコーナーでは、猪苗代湖・東磐梯湖沼流域のむがしを紹介しています。

読者プレゼント



純米酒「猪苗代湖」
720ml.....5名

希望される方は、お名前、ご住所、年齢、湖美来クラブ会員番号(加入の方)、よろしければ湖美来通信へのご意見などを記入の上、はがき、又はメールで応募ください。応募締め切り/12月9日(金)必着

当選者には、直接当選の旨、お知らせいたします。また、応募者の個人情報はお選者へのプレゼント以外には利用いたしません。

「宛先」

〒960-8670

(〒のみで住所は省略可)

福島県生活環境部水環境グループ内

猪苗代湖・東磐梯湖沼

水環境保全対策推進協議会事務局

プレゼント係

E-mail kosuiky@hi-net21.ne.jp

「きくめく水のふるさと磐梯」
湖美来クラブ全員募集中!

優れた水環境の猪苗代湖や東磐梯湖沼群を美しく、ままたる世代へ引き継いで行くため、湖美来クラブ会員を募集しています。【会員特典あり】

◆年会費 個人2千円、法人1万円

問い合わせ先 協議会事務局

☎024-521-7258

☎024-521-7927